



## 神戸市とテルニ市における観光交流に関する確認書

テルニ市は、「愛の守護神」といわれる「聖バレンチノ」の聖地であり、このまちからバレンタインデーが世界に広まった。

一方、神戸市は、日本におけるバレンタインデー発祥の地である。

両市の交流は、1986年2月に、テルニ市の観光使節団が神戸市を訪問したことから始まり、1993年2月にテルニ市から神戸市に彫刻「愛の像」が贈られ、また、1994年7月には、神戸市からテルニ市に日本画が贈られた。

その後、神戸市は1995年1月の阪神・淡路大震災に見舞われ、両市の交流は進展することができなかったが、震災から11年を経た今、両市は観光及び文化の分野におけるより一層の友好交流の促進と親善に努めていく。

これを確認するため、2006年2月14日、両市長はここに署名する。

神戸市長

矢田立郎

テルニ市長

パウロ ラファエロ